

設定した解決したい課題

伊勢湾・三河湾で行う海況調査のデータをいち早くわかりやすい形で漁業関係者等に公開できるシステムを構築する。

解決の方向性（採択企業との協議結果）

- 海況調査データを公開するにあたり、海況調査データの加工（描画）を行うソフトウェアが属人的な作業を伴うものであったため、新たな描画アプリケーションの開発を行い、属人性の解消とシームレスな公開のための基礎づくりを行う。
 - 漁業関係者等に適時・適切に情報を届けるため、定期的・能動的に情報発信を行うことできるTwitter等を活用した実証を行う。
- <検証項目・KPI>
- ・データの加工作業の属人性解消
 - ・漁業関係者の満足度



これまでの活動成果（現状報告）

- ✓ 10-11月に描画アプリケーションの開発要件を検討し、開発に着手、実装。
- ✓ 漁業関係者へのヒアリングを行い、タイムリーであること、どこからでも見やすいわかりやすいこと、ユーザーニーズに即していることが情報提供にとって重要であることがわかった。



現時点での課題と対応方針

- ✓ 実装された描画アプリケーションの検証を行う。
- ✓ 非公開のTwitterアカウントを利用し、協力いただく漁業関係者にニーズに即した情報提供を行なった場合の満足度を調査する。

実証実験の計画

方法：描画アプリケーションの開発

Twitter等を活用した情報発信の実証

期間：2022年12月～

評価：描画アプリケーションの開発、アンケート